

# 本研究室が目指しているもの

---

我が国は、国土の約7割が急峻な地形で占められており、また脆弱な地質も広く分布しています。さらに、地震や降水量が多いため、これまで数多くの尊い人命や財産が奪われるなどの地盤災害が多数発生してきました。

本研究室では、地盤災害の中でも特に斜面災害に着目し、斜面崩壊の発生メカニズムの解明と斜面災害の発生危険度評価手法の構築に関する様々な研究を行っています。

我々の研究成果が、斜面災害による人的・物的被害を軽減し、安全で安心できる社会の実現に貢献することを目指しています。

# 斜面の安定性評価のための 崩壊発生機構の解明に関する研究

神戸市立工業高等専門学校  
都市工学科  
准教授 鳥居宣之

Copyright© N.T.

# 研究背景と目的

---

地震や豪雨に対する自然斜面ならびに人工斜面の安定性を評価するためには、「斜面がどのような原因・過程で崩れていくのか？」を明らかにし、その崩壊メカニズムを考慮した手法により評価を行うことが重要です。

本研究テーマは、現地調査・試験、室内試験などを通して、斜面の崩壊発生機構を解明することを目的として行っています。

# 研究テーマ

---

- 締固め条件が盛土地盤材料の強度特性に及ぼす影響に関する研究
- 風化花崗岩地域における豪雨時の斜面不安定化機構に関する研究
- 複合誘因による斜面崩壊発生機構に関する研究
- 英国地すべり粘土の残留強度特性に関する研究  
(Kingston大との共同研究)